

発行：アメリカ経済史学会事務局

1 静岡例会（5月）の報告

本年度第1回例会が、5月21日（土）静岡大学人文学部で開催されました。若干の非会員参加者を含め、17名が参加し、過去2年間のアメリカ経済史研究の回顧・二つの書評研究会を行いました。

・研究会

- (1) 河崎信樹（日本学術振興会特別研究員）「アメリカ経済史研究の回顧（2003 - 2004年）」 - 両大戦間期から現代に至る時期のアメリカ経済史に関わる諸論文を検討しました。アメリカ通商政策をめぐる問題、第二次大戦中から戦後にかけての「パクス・アメリカーナ」の形成過程と時期について、マーシャルプランとアメリカナイゼーションについて、第二次大戦後のアメリカ経済、などの近年研究関心が集中しているテーマについて、緒論者の近年の論文を概観し、討議しました。
- (2) 上野継義（京都産業大学）書評：フィリップ スクラントン著、森杲ほか訳『エンドレス・ノヴェルティ アメリカの第2次産業革命と専門生産』有斐閣、2004年 - 「第二次産業革命」と「専門生産」という本書の2つのキーワードについて、概念規定・時期区分・アメリカ的特質・アメリカ国内での地理的偏差などの諸点について、訳者の森氏も交え、議論しました。
- (3) 藤木剛康（和歌山大学）書評：鹿野忠生著『アメリカによる現代世界経済秩序の形成 貿易政策と実業界の歴史学的総合研究』南窓社、2004年 - 1934年互惠通商法の目的が輸出と輸入どちらを主たる目的とするか、という論点について、鹿野氏と三瓶弘喜氏の各々の所説を検討し、その対立点と共通性について活発な議論がされまし

た。

研究会終了後は、全国大会のテーマと開催校・構成と内容などについて、話し合いました。

総会終了後は、例年通り、居酒屋で日本酒と季節の海産物を味わい、歓談しました。

2 全国大会の案内と例会報告希望者の募集

全国大会

日時：10月9日（日）

会場：北海学園大学6号館3階 C33 & C304

共通論題：「市場と秩序」

プログラムの詳細については、同封の全国大会・総会の案内をご覧ください。

12月例会の報告者募集

アメリカ経済史学会では、2005年度12月例会での研究報告を募集しております。希望される方は、全国大会出欠アンケートの葉書か、e-mail（aehaj@mac.com）で事務局までご連絡ください。12月例会は12月10日（土）か17日（土）を予定しております（開催地は未定、全国大会のときに相談）。報告希望に際しては必ず報告題目を明記してください。報告者の決定については、理事会が報告希望を検討した上でご連絡さしあげます。

3 学会誌『アメリカ経済史研究』第4号発行

9月中に会員のみなさまに郵送される予定です。

4 会員の訃報

会員の安場保吉氏（大阪学院大学）が、4月14日、心不全で逝去されました。謹んで、ご冥福をお祈りします。

（文責：坂出）